

2025 年 3 月 31 日（月）

2024 年度 学校関係者評価シート

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

《評価委員》

北田委員（きただ治療院） 福末委員（古都治療院） 山内委員（やまうち治療院）
丸尾委員（堂阪医療器製作所） 山下委員（ハリリア京都）
小林委員（学校長） 岩崎委員（事務部長） 松尾委員（副校長補佐）

《評価区分》

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普 通
2 適切にややかける 1 適切でない N A あてはまらない

評価項目		評価
基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	学校の歴史からもわかるようにしっかりした理念に基づいた教育が行われている。 また国家試験の合格率についても、特に現役受験者の合格率は高く、既卒の人間へもアフターフォローが出来ている。 あはき師が医療従事者ということを学生がより意識し、仕事に誇りを持てるような教育にさらに注力いただきたい。
基準 2 学校運営		
2-2	運営方針	法人評議委員会、理事会において承認された事業計画及び予算に基づいて運営されていると評価できる。
2-3	事業計画	年度毎の事業計画が定められ、各種の課題や解決策についてしっかりと検討がなされている。
2-4	運営組織	学校運営会議の組織において事業計画に基づき運営されている。
2-5	人事・給与制度	客観的かつ公平に実施されていると考える。
2-6	意思決定システム	毎週の学校運営会議や教務会議、評議委員会、理事会のシステムが整備されている
2-7	情報システム	テレワークやリモート授業、オンライン会議が行える環境が整備されており、評価できる。
基準 3 教育活動		

3-8	目標の設定	教育理念に則ったカリキュラム編成・科目編成がなされている。	4
3-9	教育方法・評価等	臨床実習をはじめ、他校と比較しても充実した時間数が設置なされている。 様々な委員会を組織され、委員からの意見聴取に取り組んでいるので、その意見が更に反映されるよう期待する。 期毎に授業の評価を実施し、集計結果を各教員へ配布、併せて報告書の提出も求め、授業の改善が図られている。	5
3-10	成績評価・単位認定等	成績基準がシラバス、学則等に記載されており、明確化されている。	5
3-11	資格・免許の取得の指導体制	通常の過程に加え授業外で国家試験対策講義（オンデマンドやハイブリッド形式）を実施し、さらにフォローアップが図られている。 国家試験に不合格であった既卒者へのフォローアップの体制なども評価できる。 現在も国家資格の合格率は高いが 100%を目指していただきたい。	5
3-12	教員・教員組織	教員の資質向上の取り組みがなされており、評価できる。 様々な経験豊富な教員が配置されており、また教員自ら研修会等で発表もされており頼もしい。	5
基準 4 学修成果			
4-13	就職率	企業就職説明会の実施や求人・就職支援サイトなど就職率を高める取り組みが多く検討されており、評価できる。 また、それらが既卒者にも利用できる配慮がなされていることも評価できる。	4
4-14	資格・免許の取得率	全国平均以上の合格率を達成しており、評価できる。 引き続き合格率 100%を目指していただきたい。	5
4-15	卒業生の社会的評価	同窓会組織「洛仁会」を組織されており、京都府鍼灸マッサージ師会との交流もなされている。 「洛仁会」については、さらなる充実が望まれる。 鍼灸師の社会的評価を上げるために、卒業しても日々勉強できる環境の整備にさらに注力いただきたい。	4
基準 5 学生支援			
5-16	就職等進路	一定程度の就職活動支援が行われていると評価できるが、求人ポータルサイトの積極的な周知など、更なる支援体制の構築・整備が必要と思われる。	4
5-17	中途退学への対応	各種のフォローアップにより中途退学率が改善していることは評価できる。 コロナ禍からまた状況が変化しているが、引き続き退学者が少な	4

		くなるよう注力いただきたい。	
5-18	学生相談	担任から教務、事務と連携がとられており、評価できる。	5
5-19	学生生活	日本生徒支援機構の奨学金や高等教育無償化制度の対象校として認可を受けていること、毎年学生の健康診断がなされていることは評価できる。 また、スクールカウンセラーによるカウンセリングが月に3度実施されていることも評価に値する。 引き続き学生の生活をサポートいただきたい。	5
5-20	保護者との連携	保証人へ成績・出席状況等を通知しており、保護者が学生の状況を把握しやすい体制となっている。 また、成績不良者については早期に連絡がいくような制度設計がなされていることも評価できる。	5
5-21	卒業生・社会人	同窓会組織「洛仁会」において、年に2～3度の卒業研修会が実施をされているが、さらなる活動の充実に期待する。 卒業後にあはき師として生活をしていくための取り組みについて、さらに注力いただきたい。	4
基準 6 教育環境			
6-22	施設・設備等	オンライン授業等にも対応できる設備が構築されている。	5
6-23	学外実習、インターンシップ等	各種見学実習の実施などは評価できる。 今後、施術所の見学実習などについても検討いただきたい。	4
6-24	防災・安全管理	避難訓練の実施や自衛消防隊の構築等、災害に対する部分については、早急な取り組みが必要であると思われる。	4
基準 7 学生の募集と受入れ			
7-25	学生募集活動は、適正に行われているか	高等学校に対して積極的に情報提供なされている。 他方、広告面においては SNS 等での活動を拡張するために専門業者を入れて強化するなどの取り組みも検討いただきたい。 業界団体との連携も見据え、京都在住・出身の学生数増加にも注力いただきたい。	4
7-26	入学選考	選考基準を明確にして適切に運用されており、評価できる。	5
7-27	学納金	適切に設定されていると評価する。	5
基準 8 財務			
8-28	財務基盤	適切な構築及び実施がされていると思われる。	5
8-29	予算・収支計画	適切な策定、管理が行われていると思われる。	5
8-30	監査	適切に監査が行われていると思われる。	5
8-31	財務情報の公開	財務情報の閲覧を希望する者に公開しているのは評価できる。	5
基準 9 法令等の遵守			
9-32	関係法令、設備基準等の遵守	関係法令を遵守し、適正な学校運営が行われていると思われる。	5

9-33	個人情報保護	個人情報保護法に留意しながら、外部に漏洩なきよう適切な管理がなされている。	5
9-34	学校評価	自己点検・評価委員会を設置しており、評価できる。 また、関係者評価委員の評価に基づいて改善が図られていることも評価できる。	5
9-35	教育情報の公開	カリキュラム等、教育課程に関する情報を公開し、本校の独自性・特色の周知が図られている。	5
基準 10 社会貢献・地域貢献			
10-36	社会貢献・地域貢献	近隣の方を中心に臨床実習協力者として施術を受けてもらう等、地域との交流も図られている。	5
10-37	ボランティア活動	京都府専修学校各種学校協会の体育大会におけるマッサージボランティアブースの設置や、京都マラソンでの京都府鍼灸マッサージ師会の受付誘導の補助などの活動は評価できる。 ボランティア活動を通して、あはき師のことを知っていただくきっかけになるかと思われる。	5